# U.S.Indicators

## 米国 10－12月期の機械設備投資の堅調持続を示す(17年11月耐久財受注)

公表日：2017年12月22日（金）

～非国防資本財受注のモメンタムは一段の強まり～

第一生命経済研究所　経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治
03-5221-5001

| | 耐久財受注 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 出荷 | | | | 受注 | | | | 在庫 | | |
| | | 除く輸送機器 | | 非国防資本財除く航空機 | | 除く輸送機器 | | 非国防資本財除く航空機 | | 除く輸送機器 | 非国防資本財除く航空機 |
| 16/11 | ▲0.0 | ＋0.5 | (＋0.9) | ＋0.4 | ▲4.6 | ＋1.4 | (＋3.1) | ＋1.5 | ＋0.3 | ＋0.3 | ＋0.4 |
| 16/12 | ＋1.8 | ＋1.4 | (＋3.0) | ＋1.4 | ＋0.3 | ▲0.0 | (＋3.8) | ▲0.3 | ＋0.0 | ＋0.2 | ＋0.7 |
| 17/01 | ▲0.1 | ＋0.3 | (＋3.4) | ▲0.3 | ＋0.3 | ＋1.1 | (＋2.8) | ＋1.3 | ＋0.1 | ＋0.5 | ＋0.2 |
| 17/02 | ＋0.4 | ＋0.7 | (＋5.1) | ＋1.2 | ＋1.4 | ＋0.3 | (＋5.1) | ＋0.1 | ＋0.2 | ＋0.4 | ＋0.3 |
| 17/03 | ▲0.1 | ＋0.1 | (＋4.9) | ＋0.2 | ＋2.4 | ＋0.9 | (＋6.3) | ＋0.0 | ＋0.3 | ＋0.5 | ＋0.7 |
| 17/04 | ▲0.2 | ▲0.1 | (＋4.7) | ＋0.2 | ▲0.8 | ▲0.4 | (＋5.0) | ＋0.3 | ＋0.2 | ＋0.3 | ▲0.1 |
| 17/05 | ＋1.3 | ＋0.7 | (＋5.6) | ＋0.3 | ▲0.0 | ＋0.8 | (＋6.3) | ＋0.8 | ＋0.2 | ＋0.4 | ＋0.1 |
| 17/06 | ▲0.0 | ＋0.3 | (＋5.7) | ＋0.6 | ＋6.4 | ▲0.0 | (＋6.8) | ▲0.1 | ＋0.5 | ＋0.8 | ＋1.0 |
| 17/07 | ＋0.1 | ＋0.0 | (＋5.3) | ＋1.0 | ▲6.8 | ＋0.8 | (＋5.8) | ＋1.3 | ＋0.5 | ＋0.4 | ＋0.1 |
| 17/08 | ＋0.7 | ＋1.2 | (＋6.1) | ＋1.3 | ＋2.1 | ＋0.8 | (＋6.8) | ＋1.4 | ＋0.5 | ＋0.7 | ＋0.5 |
| 17/09 | ＋1.2 | ＋1.1 | (＋7.1) | ＋1.3 | ＋2.4 | ＋1.3 | (＋8.2) | ＋2.3 | ＋0.6 | ＋0.5 | ＋0.4 |
| 17/10 | ＋0.5 | ＋0.9 | (＋7.4) | ＋1.3 | ▲0.4 | ＋1.3 | (＋8.6) | ＋0.8 | ＋0.2 | ＋0.3 | ▲0.1 |
| 17/11 | ＋1.0 | ＋0.2 | (＋7.1) | ＋0.3 | ＋1.3 | ▲0.1 | (＋7.0) | ▲0.1 | ＋0.2 | ＋0.4 | ＋0.3 |

***11月の耐久財受注は前月比＋1.3%と増加も、除く輸送機器は同▲0.1%と減少***

17年11月の耐久財受注は、変動の大きい郵送機器が拡大に転じたことで前月比＋1.3%（前月同▲0.4%）と増加した。一方、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、４ヵ月連続で高い伸びとなった後にもかかわらず、前月比▲0.1%（前月同＋1.3%）と小幅の減少にとどまった。均してみれば、耐久財全体、除く輸送機器はともに拡大を続けていると判断され、堅調さを保っている。

業種別では、加工金属、一般機械、コンピューター・電子製品関連が減少したうえ、その他耐久財が鈍化した。一方、輸送機器が増加に転じたほか、一次金属、電気機械関連は鈍化したが高い伸びを維持した。規模の最も大きい輸送機器では、需要の強い自動車が高い伸びを維持するもと、民間航空機、軍用航空機が増加に転じた。

３ヵ月移動平均・３ヵ前対比年率をみると、11月の耐久財受注は＋6.1%（前月＋3.2%）とプラス幅を拡大した。また、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は＋12.5%（前月＋11.2%）と加速し高い伸びとなり、耐久財受注は力強さを増している。自動車・同部品、コンピューター・電子製品関連、電気機械･同部品、一次金属、加工金属等が堅調さを維持している。

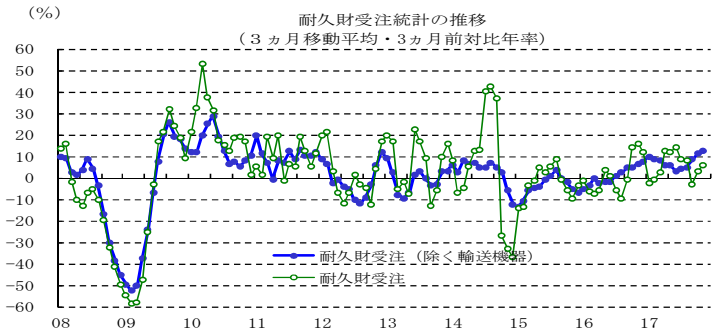
***11月の非国防資本財出荷が前月比＋0.3と鈍化し、受注は▲0.1%と失速***

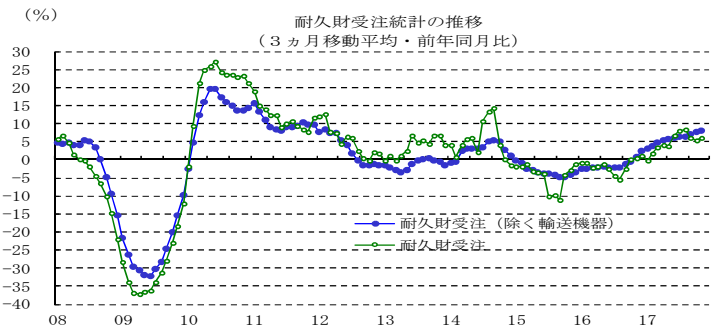
設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が１１月に前月比＋0.3%（前月同＋1.3%）と鈍化した。ただし、四半期でみると、10、11月は、７－９月期比年率＋11.5%と７－９月期の前期比年率＋12.0%という高い伸びの後にもかかわらず、ほぼ同様のペースで拡大した。また、３ヵ月移動平均・３ヵ月前対比年率で＋14.9%（前月＋15.0%）と高い伸びを維持しており、10－12月期の機械設備投資の加速を示している。

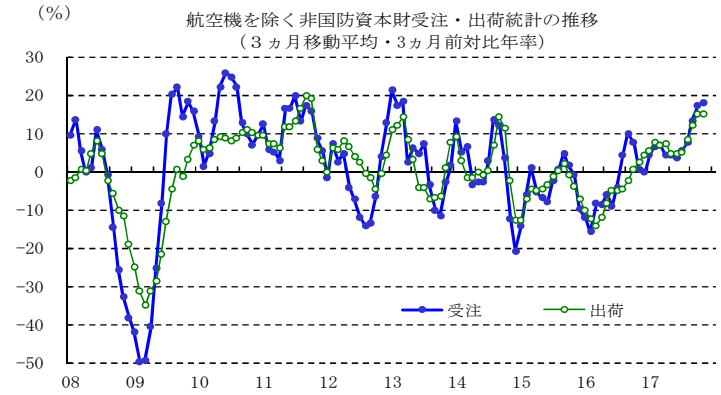
機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、11月に前月比▲0.1%（前月同＋0.8%）と減少に転じたが、10月分と同様に改定で上方修正される可能性がある。また、10、11月は７－９月期比年率＋11.6%と、７－９月期に前期比年率＋

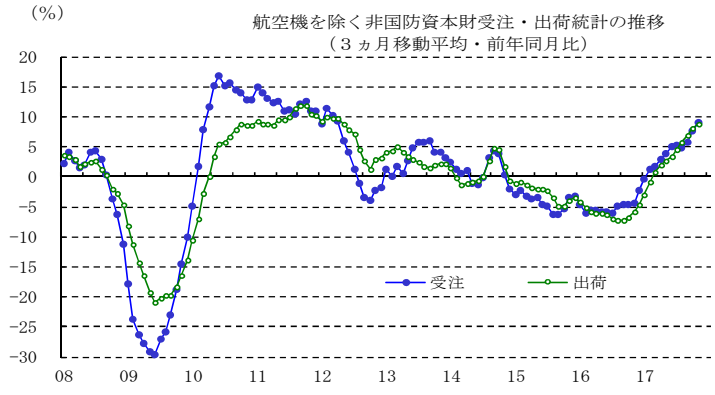
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

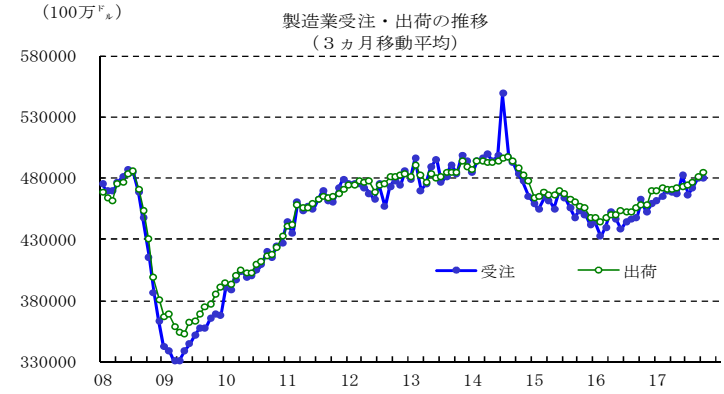
13.3%の高い伸びとなった後にもかかわらず大幅に増加した。さらに、３ヵ月移動平均・３ヵ月前対比年率で＋18.0%（前月＋17.2%）と伸び率を速めており、17年10－12月期にかけて非国防資本財出荷（除く航空機）が加速することを示している。18年前半の機械設備投資の拡大モメンタムは強い状況を維持すると予想される。

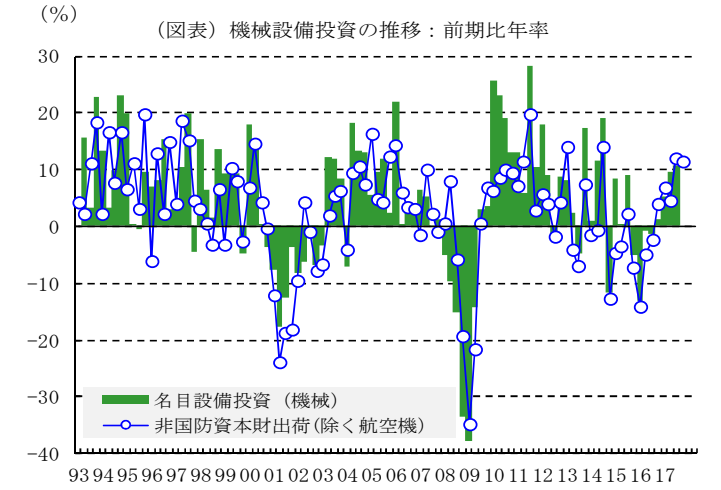


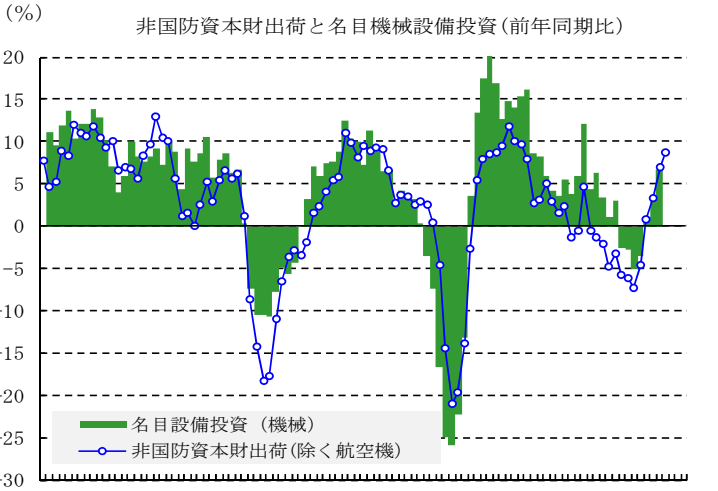






（出所）米商務省データより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。